

漸く政友を去り憲政に移らんとし、我々民憲党は結党後未だ日  
 浅く基礎未だ定まらず、市民は熱心に今期の選挙を注し、一  
 あつた。

▲各派の候補者  
 選挙期日の切迫すると共に各派競いて候補樹立するに至る今各  
 派別に候補者数を示せば次の如くである。

憲政友会 七名  
 中立 十名  
 民憲党 四名  
 (総二名)

以上の如くなるが中立の名、内実際の中立は其の内、三名  
 に、他は何れも憲政何れにか属するものである。  
 民憲党の四名、候補樹立は無黨にして二名位当選すれば成切  
 にして二名は落選ならんと既成政友は評しつゝあつた。

▲各派の陣容

憲政、政、中立の各派は市内各所に廣大なる事務所を設置し、主  
 として、戸別訪問、文書宣傳に主力を注ぎ、言論戦は殆ど開催  
 せず一二の候補者が民家にて小演説會を開催したるに過ぎず、  
 されど過去数年間、情交と因縁を以て藩閥あつたる地盤に依  
 つて猛烈なる運動を開始し各派に於て運動員、衝突を起す并、  
 劇然なる運動は可成の成績を挙げたるが如し。

▲民憲党の陣容  
 四月廿二日の中央委員会に於て候補者の決定すると共に、凡て  
 の運動方針を決定するや、一齊に黨員を總動員し主力を言論戦

に注ぎ、労働階級の根柢を獲得し、労働の覺悟を清物は目醒し、既成政友  
 をして驚愕せしむる。感があつた。今主なる事を摘記すれば次の如  
 くである。

民憲党  
 候補者名年職業

氏名	年齢	職業	備考
長尾 克己	五〇	製糖機械工	組長(製糖所主任)
奥田 長太郎	三八	大工職	元製糖機械工(職名)
重住 權祐	三二	製糖機械工	仕上職
堂本 為一広	三四	小商人	石炭小賣商

▲各派の選挙事務所  
 憲政友会 東京市本町区、民憲党 芝罘、労働者 芝罘、中立 芝罘、民憲党 芝罘

演説會

四候補者同

月日	會場	轉家	備考
五月廿二日	三ノ座	一五〇名	祝賀會、芝罘、外数百名あり
六月六日	兩國座	一五〇名	味、芝罘、芝罘、芝罘
七月廿二日	有樂座	一八〇名	祝賀會、極大

▲選挙事務所  
 憲政友会 芝罘、民憲党 芝罘、労働者 芝罘、中立 芝罘、民憲党 芝罘